

〔海況概要〕(令和6年8月15日～8月21日)

今週の本県近海の表面水温は、27～31 台を示し、かなり高い～著しく高いでした。

〔漁況概要〕(令和6年8月15日～8月21日)

中小型まき網---お盆休みと月夜間に出漁日数が少なかった。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の21%(前年を下回った)。

イカ釣----スルメイカは壱岐勝本地区では、1日当たり23kgの水揚げで、前週の21%(前年並み)。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり37kgの水揚げで、前週の39%(前年を下回った)。壱岐勝本地区では、1日当たり273kgの水揚げで、前週の13%(前年を下回った)。

定置網----五島有川地区では、ニザダイなどが1日1統当たり236kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヤイトなどが1日1統当たり26kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり530kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり30kgの水揚げで、前週を上回った(前年を下回った)。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(8/8～8/19の12日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、対馬沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣(氷蔵船)は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部(沖合船)は、3日延8隻、総計599箱、1航海最高125箱、平均74.9箱。スルメイカ(20～40入)174箱、ケンサキイカ(2～4立)425箱の混獲となった。

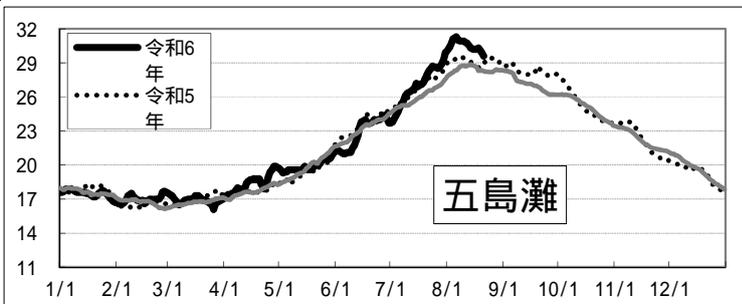
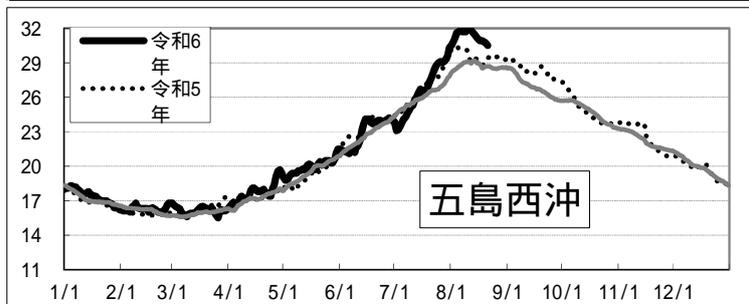
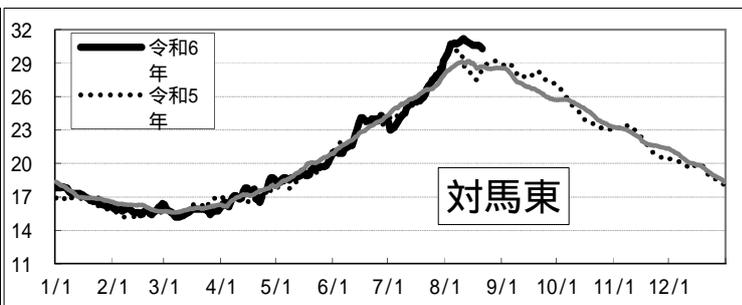
(漁業情報サービスセンターより)

〔海面水温情報〕 MGD SST (人工衛星水温) [気象庁発表]より

令和6年8月15日～令和6年8月21日の平均水温

人工衛星水温から下記定点水温を抜粋

	水温	前週差	平年差
対馬東	30.6	-0.4	2.7
五島西沖	30.9	-0.9	2.1
五島灘	30.1	-0.6	1.6



〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-14号 小トビ(トビウオ未成魚)飛翔目視調査結果」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>